

令和6年度の派遣実績(詳細版)

団体名	出水市(建設政策課)
所在地	出水市

1 派遣活用前の状況

出水市景観計画の改定(令和4年3月)をきっかけに、市民と行政が協働して景観づくりを行うため、地域の提案により新たな景観資源を指定する景観提案制度の創設を目指し、令和4～5年度にかけて市民等から広く意見を取り入れるためのワークショップを開催していた。

2 派遣実績

<1回目:令和6年6月21日(金)14:00～16:00>

会議名称	出水市景観まちづくりワークショップ
開催場所	米ノ津農村環境改善センター(出水市)
参加者	14名(地元商工会, コミュニティ協議会等も参加)
派遣講師	小山 雄資(専門分野:建築)
助言内容	地域の提案により景観資源を指定する景観提案制度の創設に向け、市民向けワークショップにおける意見交換会に対して講評を行うとともに、景観資源の活用方法や改善点等について助言を行った。

<2回目:令和6年9月25日(水)14:00～16:00>

会議名称	出水市景観まちづくりワークショップ
開催場所	大川内農業者トレーニングセンター(出水市)
参加者	19名(地元街なみ保存会, 商工会, コミュニティ協議会等も参加)
派遣講師	小山 雄資(専門分野:建築)
助言内容	地域の提案により景観資源を指定する「景観提案制度」の創設に向け、市民向けワークショップにおける意見交換会に対して講評を行うとともに、提案制度について助言を行った。

3 活用後の成果, 今後の取組(派遣から1年後)

令和7年4月に景観提案制度を創設し、地区コミュニティ協議会等への周知を行った。
景観提案制度に基づく景観資源の提案にはまだ至っていないが、地域住民と連携をしながら、景観資源の提案及び景観重要資産の指定を目指していく。

令和6年度の派遣実績(詳細版)

団体名	長島新風塾
所在地	長島町

1 派遣活用前の状況

魅力ある地域づくりのため、地域住民や景観団体とともに花壇に花を植栽するなどして、景観形成をしている。景観をひとつの魅力として発信するため、地域のポテンシャル等について助言を受け、イベントや地域づくりの活性化につなげることを目指していた。

2 派遣実績

<1回目:令和6年8月11日(金)16:00~18:00>

会議名称	景観アドバイザーと語る会(まち歩き)
開催場所	長島町鷹巣
参加者	13名
派遣講師	東川 隆太郎(専門分野:地域づくり)
助言内容	地域の魅力発信の参考となるよう、長島町の鷹巣、浦底の一部の歴史について、現地で史跡の説明し、万葉集に出てくる、三船の船番所など、長い歴史を持つ地域の魅力や課題について助言を行った。

<2回目:令和7年1月24日(金)18:00~20:00>

会議名称	東川隆太郎セミナー
開催場所	長島町役場 開発センター
参加者	18名
派遣講師	東川 隆太郎(専門分野:地域づくり)
助言内容	地域の魅力発信の参考となるよう、未指定文化財候補の保存と活用が求められていること、石碑や記念碑、港などの景観も文化財候補になること等、助言を行った。

<3回目:令和7年2月7日(金)18:00~20:00>

会議名称	景観アドバイザーと語る会
開催場所	長島町鷹巣
参加者	12名
派遣講師	石田尾 博夫(専門分野:地域づくり)
助言内容	地域づくりには、地域らしさの視点、協働の視点、継続の視点が必要であること、長島町の魅力を発信するための方法について助言を行った。

3 活用後の成果、今後の取組(派遣から1年後)

長島町には、本土とは異なる歴史や文化、伊勢神社や三船港などの特徴的な景観がみられる。この環境を活かし、人々が生き生きと暮らす魅力的なまちを目指し、情報発信や環境整備に取り組んでいきたい。
また、船番所があった場所して発信するため、地域住民と協力しながら、景観に配慮した記念碑を設置できないか検討していきたい。

令和6年度の派遣実績(詳細版)

団体名	平佐西地区コミュニティ協議会
所在地	薩摩川内市

1 派遣活用前の状況

平佐焼窯跡の活用・保存・継承してための取組について検討をしていた。

2 派遣実績

<1回目:令和6年7月30日(水)15:00~17:00>

会議名称	平佐焼の里景観会議
開催場所	皿山自治会館(薩摩川内市)
参加者	11名(薩摩川内市参加)
派遣講師	東川 隆太郎(専門分野:地域づくり)
助言内容	薩摩川内市の皿山地区を平佐焼の里として保存・継承していくために、団体が行っている保存継承活動を継続することや、市の土地区画整理事業において、遺跡を残せるように考慮することなど助言を行った。

<2回目:令和6年12月6日(金)15:00~17:00>

会議名称	平佐焼の里景観会議
開催場所	皿山自治会館(薩摩川内市)
参加者	11名(薩摩川内市役所も参加)
派遣講師	東川 隆太郎(専門分野:地域づくり)
助言内容	皿山地区を平佐焼の里として保存・継承していくために、平佐釜跡群における保存活用や将来の展望について、協議会が行っている講座やイベントなどの取組みの重要性など助言を行った。

<3回目:令和7年2月7日(金)14:30~16:30>

会議名称	平佐焼の里景観会議
開催場所	薩摩川内市国際交流センター
参加者	11名(薩摩川内市役所も参加)
派遣講師	西嶋 啓一郎(専門分野:建築)
助言内容	皿山地区を平佐焼の里として保存・継承していくために、コンベンションへの参加等、全国に向けた情報発信など助言を行った。

3 活用後の成果、今後の取組(派遣から1年後)

天辰地区の役員全体で、平佐焼窯跡が貴重な地域の財産であり、将来にわたって守っていくべきものという認識が生まれた。今後は保存活動に取り組むとともに、次世代に引き継ぐため、小学校と連携して地域の歴史遺産を知ってもらう活動に取り組んでいきたい。

令和6年度の派遣実績(詳細版)

団体名	NPO法人喜楽ハーブおきのえらぶ
所在地	和泊町

1 派遣活用前の状況

薬草長寿ガーデンに未耕作地があり、休憩所がない状況であった。植栽の配置や癒しの空間づくり、休憩スペースの設置などについて検討していた。

2 派遣実績

<1回目:令和6年6月18日(火)13:30~15:30>

会議名称	「島の薬草長寿ガーデン」の空間造成について
開催場所	薬草長寿ガーデン(和泊町)
参加者	2名
派遣講師	廣森 徹(専門分野:自然・緑化)
助言内容	島の薬草長寿ガーデンが、島の薬草文化を守り、次世代に継承するとともに、地域のコミュニティの場として活用されるよう、魅力ある空間形成の方法、地域社会との協働について助言を行った。

3 活用後の成果、今後の取組(派遣から1年後)

バリアフリーに配慮した木のテラスを設置し、高齢者や車椅子利用者、子どもたちの交流の場として活用してもらっている。木のテラスには、空と光を感じることができるパーゴラ屋根を設け、ゴーヤやヘチマの収穫体験も可能とした。また、シンボルツリーとなる鳳凰木や桜を植栽し、季節の移り変わりを楽しめるようにした。
今後は、助言時にいただいたガーデンデザイン案を参考に、島の薬草を学び体験できるようなゾーン分けなどを行っていきたい。

令和6年度の派遣実績(詳細版)

団体名	一般社団法人おきのえらぶ島観光協会
所在地	知名町

1 派遣活用前の状況

エラブココ(観光拠点施設)には海が見渡せるテラススペースと芝生エリアがあるが、十分に活用されておらず、その整備について検討していた。

2 派遣実績

<1回目:令和6年11月11日(金)10:00~12:00>

会議名称	エラブココ景観警備計画
開催場所	エラブココ(知名町)
参加者	2名
派遣講師	日高 一富(専門分野:自然・緑化)
助言内容	地域住民に憩いの場として認識してもらえるよう、施設庭園における、沖永良部島に自生する植物の植樹・植栽・モニュメントやフォトブースの選定などについて助言を行った。

<2回目:令和6年11月2日(土)10:00~12:00>

会議名称	エラブココ景観警備計画
開催場所	エラブココ(知名町)
参加者	2名
派遣講師	日高 一富(専門分野:自然・緑化)
助言内容	地域住民に憩いの場として認識してもらえるよう、施設周辺の散策マップの作成において、自然環境や散策を通じて島の歴史的背景を読み取ることが出来るスポットの選定、観光客の志向や見所等について助言を行った。

3 活用後の成果、今後の取組(派遣から1年後)

観光客向けに施設周辺の散策マップを作成し、地域の魅力発信を行っている。また、雑草による景観の悪化を防止するため、草刈り機を導入し、引き続き定期的な除草作業を行っている。
今後は、施設所有者である知名町と協議を進め、整備計画案の作成・検討を行っていきたい。

令和6年度の派遣実績(詳細版)

団体名	奄美市(笠利総合支所)
所在地	奄美市

1 派遣活用前の状況

奄美市笠利町内では、土地売買やホテル建設などの開発行為が増加傾向にあるが、産業開発と自然環境・景観保全の両立について判断が難しい状況にあった。笠利地区における奄美市有地の在り方や、行政としての対応について検討していた。

2 派遣実績

<1回目:令和7年1月29日(水)9:00~11:45>

会議名称	奄美市有地対策検討会
開催場所	奄美市笠利総合支所
参加者	18名
派遣講師	西嶋 啓一郎(専門分野:建築)
助言内容	奄美市笠利町における、ホテル建設計画等の持続可能に稼ぐ地域づくり・産業開発と、自然環境・景観保全の両立バランスについて、地域の合意形成の観点から助言を行った。

3 活用後の成果、今後の取組(派遣から1年後)

奄美市景観計画について、計画初期段階の開発に対しても助言を行えるよう、景観基準の確認等を目的とした事前相談の必要性や景観審議会の開催について追記した。また、奄美市公有財産利活用等基本方針を策定した。今後は、他市町村の事例等を研究するとともに、地域との合意形成の在り方について検討していきたい。